

経営方針（骨子）

平成24年4月2日（制定）
代表取締役 栗城 仁

1. 主旨

- 弊社の将来に向け、役員及び社員が企業活動を行う上に於いて、活動認識の共有化を図り企業の発展に貢献する事を目的に経営方針を定めるものである。

2. 企業理念

企業理念とは、**会社の存在意義**を示すものである。

- 我々は、長年培ってきた、**経験と知識を融合し**、これからの**情報社会に貢献する事**を使命と心得、常に新しい**技術の吸収**を行いつつ社会に貢献するものである。

- 弊社は、SE(システムエンジニア)集団である事の自覚を持ち、**プロフェッショナル**思考を重視し、常に**顧客に信頼されるパートナー**であり続ける。

- 社会は常に**変化・発展**していくものであり、その過程での競争に勝つため、社員1人1人が**技術者として**、**チャレンジャー精神**に基づき、挑戦し続ける事により、企業としての**価値観**を変化させ、**企業価値を高める**ことにより、顧客信頼を得ることにより**未来に繋がると確信する**。

（価値観を変化させとは、社会環境の変化・人間性のあり方・市場の変化など会社を取り巻く環境の変化に柔軟に対応することによる新しい価値観を生み出しながら変化発展させて行くこと）。

- 弊社は、**技術を提供し、顧客ニーズを実現して行く企業であり、技術＝サービス＝人材である。**
人材を人財とするために、社会人としての常識を踏まえ技術者の育成(人財育成)を行う。

3. 企業指針

1) 目指す姿

- **社会・お客様**： お客様満足度100%を目指し、社会に貢献する事。
- **利益と成長**： 社員及び株主に対し常に利益を還元し、豊かな生活づくりに貢献する事。

2) 大切にすること

- **社員**： 自主性を尊重し、社員の成長を支援する。
- **お客様**： 常に良き、パートナーであり続ける事。
- **取引先**： 共存共栄であり続ける事。
- **技術**： 常に、新たな技術を吸収し、技術力向上に努める。
- **品質**： 常に、設計・開発などの作業品質の向上に努める。

4. 育成方針

- お客様にサービスを提供するのは、人である。よって、人の育成が会社の使命と捉え、「**人材を人財に**」を基本コンセプトとし、「**顧客の信頼・信用を得るシステムエンジニア**」(SE)の育成に努める。
- 社会人として、社会に貢献する責任と、技術者として、**知識力・技術力・表現力並びにコミュニケーション力**などを含めたシステムエンジニア(SE)としての**総合力の向上**に努める。
- 自己啓発なくして、**向上無し**。

5. 育成指針

- 必要に応じ社員のスキル状況を鑑み、積極的に社外研修を受講させ、**各自のスキル向上**を図るものとする。
- 常に研修題材は現場にあり、実務を通して技術者として**問題解決**を図り、**向上**を目指す。

6. 運営指針

- 会社は、色々な環境で育って来た人達が集まり、組織を作り、動かして結果を出すところである。よって、**価値観の共有**が不可欠である。
我が社が「どのような会社でありたいか」という企業理念を上記に示した。これを実践する上で、経営層から、全社員が共有すべき価値観は「**知恵と改善**」と「**人間性尊重**」です。「知恵と改善」は、常に現状に満足することなく、より高い付加価値を求めて知恵を絞り続けること。そして「人間性尊重」は、あらゆるステークホルダーを尊重し、社員の成長を会社の成果に結びつけることを目的とする。

「現場あつての会社」であり、「人あつての会社」です

